

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成30年11月13日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日）
【会社名】	グリーンランドリゾート株式会社
【英訳名】	GREENLAND RESORT COMPANY LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江里口 俊文
【本店の所在の場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理室長 寺田 尚文
【最寄りの連絡場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理室長 寺田 尚文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成29年 1月1日 至平成29年 9月30日	自平成30年 1月1日 至平成30年 9月30日	自平成29年 1月1日 至平成29年 12月31日
売上高 (千円)	6,022,357	5,921,629	7,664,115
経常利益 (千円)	441,959	416,095	422,357
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	300,744	282,411	267,889
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	307,712	248,215	296,135
純資産額 (千円)	10,915,134	11,038,060	10,903,556
総資産額 (千円)	21,707,611	21,711,343	21,797,888
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	29.09	27.32	25.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	50.3	50.8	50.0

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成29年 7月1日 至平成29年 9月30日	自平成30年 7月1日 至平成30年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.87	15.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力となる九州の遊園地が堅調に推移し、バイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託を中心に、土木・建設資材事業も堅調に推移しました。

しかし、ゴルフ事業及びホテル事業は低調に推移し、北海道の遊園地もゴールデンウィーク期間やお盆期間が雨天に見舞われたため、利用者数が前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,921,629千円（前年同期比1.7%減）となり、営業利益は432,282千円（前年同期比5.3%減）、経常利益は416,095千円（前年同期比5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は282,411千円（前年同期比6.1%減）となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	5,921,629	6,022,357	100,728	1.7
営業利益	432,282	456,342	24,060	5.3
経常利益	416,095	441,959	25,863	5.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,411	300,744	18,332	6.1

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 遊園地セグメント

九州の遊園地は、ゴールデンウィーク期間の利用者数は伸び悩みましたが、夏休み以降は堅調に推移したため、売上高は前年実績を上回りました。

北海道の遊園地は、ゴールデンウィーク期間やお盆期間が悪天候に見舞われ、さらに9月に発生した台風21号及び北海道胆振東部地震の影響もあり利用者数が減少したため、売上高は前年実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比48,855千円減収（1.5%）の3,320,230千円となりました。

#### ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、利用者数の減少ならびに韓国における会員権販売も低調であったため、当セグメントの売上高は前年同期比57,204千円減収（7.9%）の665,505千円となりました。

#### ホテルセグメント

九州・北海道のホテルとも料飲・宴会部門が低調に推移し、加えて北海道のホテルは9月に発生した北海道胆振東部地震の影響もあり宿泊部門も低調であったため、当セグメントの売上高は前年同期比88,114千円減収（5.5%）の1,520,298千円となりました。

#### 不動産セグメント

不動産セグメントは、前年3月からのコンビニエンスストアへの土地賃貸開始により、売上高は前年同期比1,716千円増収（+1.5%）の116,866千円となりました。

#### 土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、前年3月からのバイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託や、客土土工の販売により売上高は前年同期比91,728千円増収（+44.3%）の298,728千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、21,711,343千円（前連結会計年度末比86,545千円減少）となりました。

流動資産

流動資産は、749,934千円（前連結会計年度末比10,179千円減少）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産

固定資産は、20,961,409千円（前連結会計年度末比76,365千円減少）となりました。これは主に、建物及び構築物が減少したことによるものであります。

流動負債

流動負債は、3,967,585千円（前連結会計年度末比112,209千円減少）となりました。これは主に、1年内償還予定の社債・未払金が減少したことによるものであります。

固定負債

固定負債は、6,705,697千円（前連結会計年度末比108,839千円減少）となりました。これは主に、長期預り金が減少したことによるものであります。

純資産

純資産は、11,038,060千円（前連結会計年度末比134,504千円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成30年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,346,683	10,346,683	東京証券取引所(市場第 二部) 福岡証券取引所	・権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 ・単元株式数 100株
計	10,346,683	10,346,683	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日	-	10,346,683	-	4,180,101	-	4,767,834

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 9,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式10,335,700	103,357	-
単元未満株式	普通株式 1,783	-	-
発行済株式総数	10,346,683	-	-
総株主の議決権	-	103,357	-

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式（失念株式）が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
グリーンランドリゾート(株)	熊本県荒尾市下井手 1616番地	9,200	-	9,200	0.09
計	-	9,200	-	9,200	0.09

（注） 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」に含まれております。

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりです。

( 役職の異動 )

新役名	新担当・職名	旧役名	旧担当・職名	氏名	異動年月日
常務取締役	空知リゾートシティ株式会社 代表取締役社長	常務取締役	空知リゾートシティ株式会社 代表取締役社長 有明リゾートシティ株式会社 取締役	重光 敬明	平成30年6月1日
取締役	有明リゾートシティ株式会社 代表取締役社長	取締役	不動産事業部長 有明リゾートシティ株式会社 代表取締役社長	幕 宰	平成30年6月1日
取締役	不動産事業部長 グリーンランド開発株式会社 代表取締役社長	取締役	グリーンランド開発株式会社 代表取締役社長	田中 宏昌	平成30年6月1日
取締役	経営管理室長	取締役	経理部長	寺田 尚文	平成30年6月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来当社が監査証明を受けている新日本有限責任監査法人は、平成30年7月1日に名称を変更し、EY新日本有限責任監査法人となりました。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	289,102	286,000
受取手形及び売掛金	236,963	193,338
商品及び製品	86,621	111,362
原材料及び貯蔵品	51,899	44,769
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	23,504	29,788
その他	68,544	81,445
貸倒引当金	3,653	3,900
流動資産合計	760,114	749,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,075,520	4,020,107
機械装置及び運搬具(純額)	603,892	598,516
土地	15,048,522	15,050,733
その他(純額)	209,495	211,334
有形固定資産合計	19,937,430	19,880,692
無形固定資産		
その他	237,157	249,590
無形固定資産合計	237,157	249,590
投資その他の資産		
投資有価証券	373,287	324,136
繰延税金資産	302,580	302,947
退職給付に係る資産	121,878	141,548
その他	66,540	63,594
貸倒引当金	1,100	1,100
投資その他の資産合計	863,186	831,127
固定資産合計	21,037,774	20,961,409
資産合計	21,797,888	21,711,343

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,215	61,737
営業未払金	101,297	137,793
1年内償還予定の社債	100,000	-
短期借入金	3,140,636	3,248,966
未払金	359,182	268,965
未払法人税等	147,835	71,845
賞与引当金	-	42,501
その他	143,628	135,776
流動負債合計	4,079,795	3,967,585
固定負債		
長期借入金	3,782,610	3,767,909
長期預り金	2,818,242	2,742,442
退職給付に係る負債	6,236	7,653
その他	207,448	187,692
固定負債合計	6,814,536	6,705,697
負債合計	10,894,332	10,673,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,853,729	2,022,429
自己株式	3,033	3,033
株主資本合計	10,798,631	10,967,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,925	70,729
その他の包括利益累計額合計	104,925	70,729
純資産合計	10,903,556	11,038,060
負債純資産合計	21,797,888	21,711,343

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,022,357	5,921,629
売上原価	5,095,378	5,052,175
売上総利益	926,978	869,453
販売費及び一般管理費	470,635	437,170
営業利益	456,342	432,282
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5,842	6,761
受取賃貸料	4,059	4,074
受取保険金	6,801	3,678
雑収入	8,035	4,512
営業外収益合計	24,740	19,028
営業外費用		
支払利息	36,864	34,550
雑損失	2,259	664
営業外費用合計	39,123	35,215
経常利益	441,959	416,095
特別利益		
固定資産売却益	-	49
受取保険金	9,727	-
補助金収入	58,726	-
特別利益合計	68,453	49
特別損失		
固定資産除売却損	4,886	1,477
固定資産圧縮損	68,300	-
その他	4,559	-
特別損失合計	77,747	1,477
税金等調整前四半期純利益	432,665	414,668
法人税、住民税及び事業税	149,009	132,327
法人税等調整額	17,088	70
法人税等合計	131,921	132,256
四半期純利益	300,744	282,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,744	282,411

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	300,744	282,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,968	34,195
その他の包括利益合計	6,968	34,195
四半期包括利益	307,712	248,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,712	248,215
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

銀行提携ゴルフローン契約先の会社等の金融機関借入金について、次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
ゴルフ会員権購入資金	171千円	69千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
減価償却費	323,588千円	344,989千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月28日 定時株主総会	普通株式	51,687	5	平成28年12月31日	平成29年3月29日	利益剰余金
平成29年8月9日 取締役会	普通株式	51,687	5	平成29年6月30日	平成29年9月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月29日 定時株主総会	普通株式	62,024	6	平成29年12月31日	平成30年3月30日	利益剰余金
平成30年8月8日 取締役会	普通株式	51,687	5	平成30年6月30日	平成30年9月3日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,369,085	722,709	1,608,412	115,149	206,999	6,022,357	-	6,022,357
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,592	8,170	18,149	19,782	4,838	54,533	54,533	-
計	3,372,678	730,880	1,626,562	134,931	211,837	6,076,891	54,533	6,022,357
セグメント利益又は損失( )	557,458	8,216	34,943	80,478	30,542	711,639	255,296	456,342

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 255,816千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,320,230	665,505	1,520,298	116,866	298,728	5,921,629	-	5,921,629
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,892	8,263	17,211	20,985	12,672	63,024	63,024	-
計	3,324,122	673,769	1,537,510	137,851	311,400	5,984,653	63,024	5,921,629
セグメント利益又は損失( )	526,567	28,888	28,998	89,059	52,288	668,025	235,743	432,282

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 236,766千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	29.09円	27.32円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	300,744	282,411
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	300,744	282,411
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,337	10,337

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成30年8月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

中間配当による配当金の総額 51,687,150円

1株当たりの金額 5円

基準日 平成30年6月30日

効力発生日 平成30年9月3日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月13日

グリーンランドリゾート株式会社  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久保 英治 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内野 健志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグリーンランドリゾート株式会社の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グリーンランドリゾート株式会社及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。